

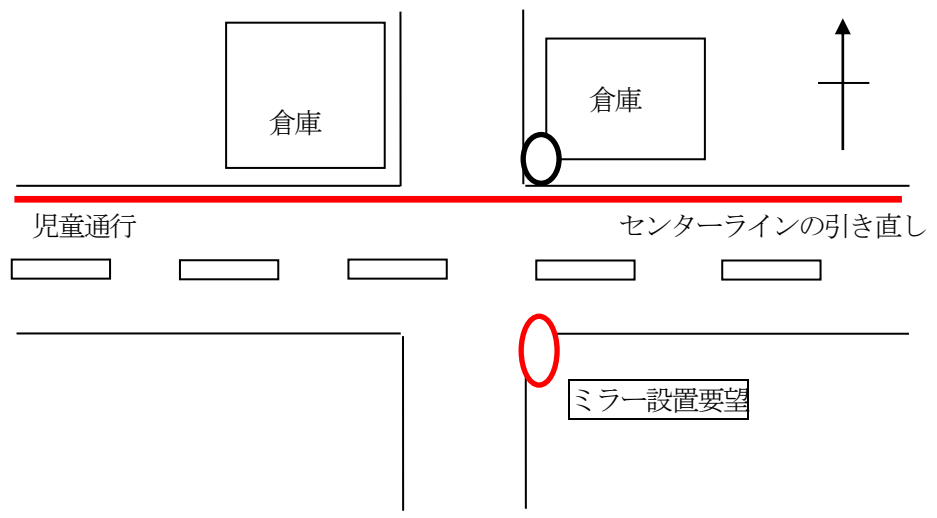


通学路点検 箇所別資料

笠松町立 下羽栗小学校


番号(対策一覧表左の番号)	1	路線名	
住所	米野43番地交差点		
通学路の状況危険の内容	大型車両等の通行が多いが狭い道路でスピードを出す車が多い。交差点はカーブミラーが無い。		
対策内容	カーブミラーの設置(北側路側帯を東へ下校する児童が、北から南進してくる車が見えるように)センターラインと巻き込み線の塗り直し、止まれ標示(足形)南東角にカーブミラー設置		
事業主体	町、警察(公安委員会)		
対策年度			
通学児童数(人)	約20名		
改善の要望者	学校、PTA		
児童の登校下校時にボランティアは配置されているか。	無し		
・現場の写真	<p>南から</p>  <p>西から</p> 		

・現場の拡大図  
(どの位置にどのような横断歩道や標識等を設置するか。)

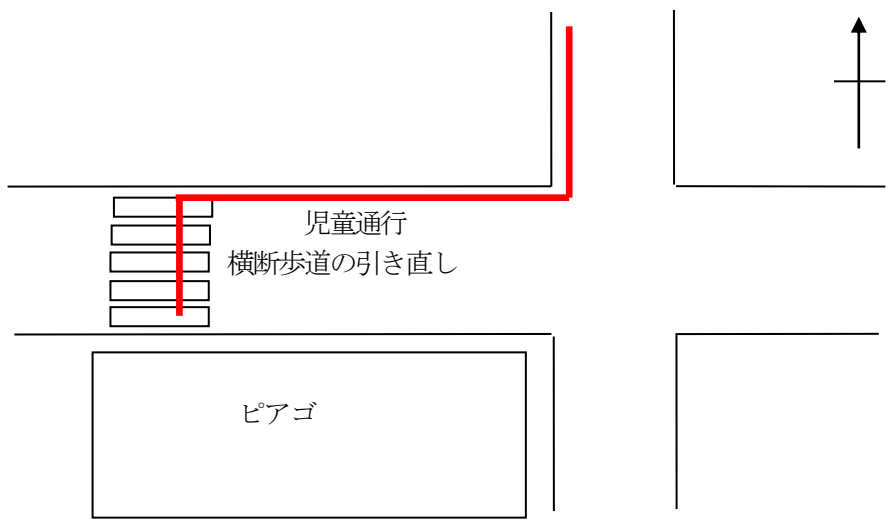


通学路点検 箇所別資料

笠松町立 下羽栗小学校


番号（対策一覧表左の番号）	2	路線名	
住所	米野1 2番地付近横断歩道		
通学路の状況 危険の内容	横断歩道が少し消えかかっている。		
対策内容	横断歩道の引き直し。1のセンターラインと併せて引き直すことで、ドライバーへの注意喚起を行いたい。		
事業主体	警察（公安委員会）		
対策年度			
通学児童数（人）	約20名		
改善の要望者	学校、PTA		
児童の登校下校時にボランティアは配置されているか。	無し		
・現場の写真	<p>西から</p> 		

・現場の拡大図  
(どの位置にどの  
ような横断歩道や  
標識等を設置する  
か。

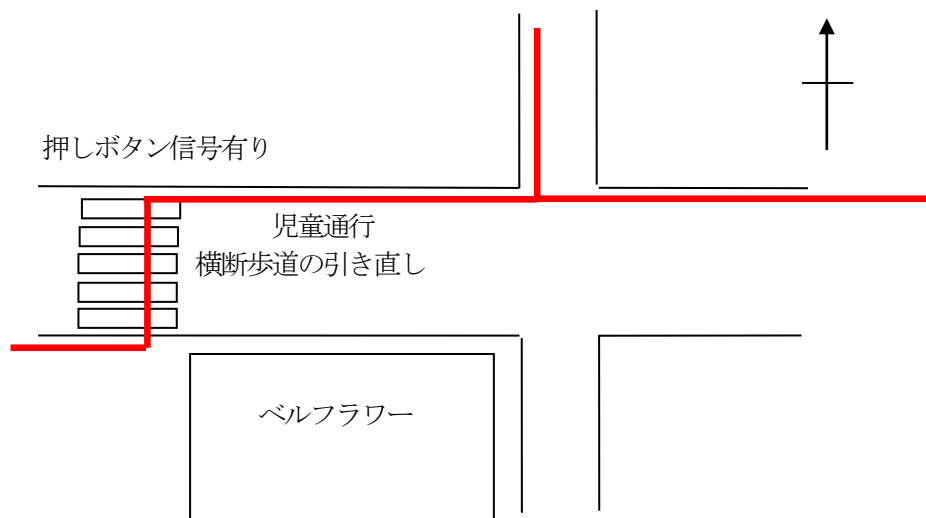


通学路点検 箇所別資料

笠松町立 下羽栗小学校

番号（対策一覧表 左の番号）	3	路線名	県道下中屋笠松線
住所	米野428番地付近横（ベルフラワー北）信号横断歩道		
通学路の状況 危険の内容	横断歩道が消えかかっている。		
対策内容	横断歩道の引き直し。		
事業主体	警察（公安委員会）		
対策年度			
通学児童数（人）	約50名		
改善の要望者	学校、PTA		
児童の登校下校時 にボランティアは 配置されている か。	有り		
・現場の写真	<p>東から</p> 		

・現場の拡大図  
(どの位置にどの  
ような横断歩道や  
標識等を設置する  
か。

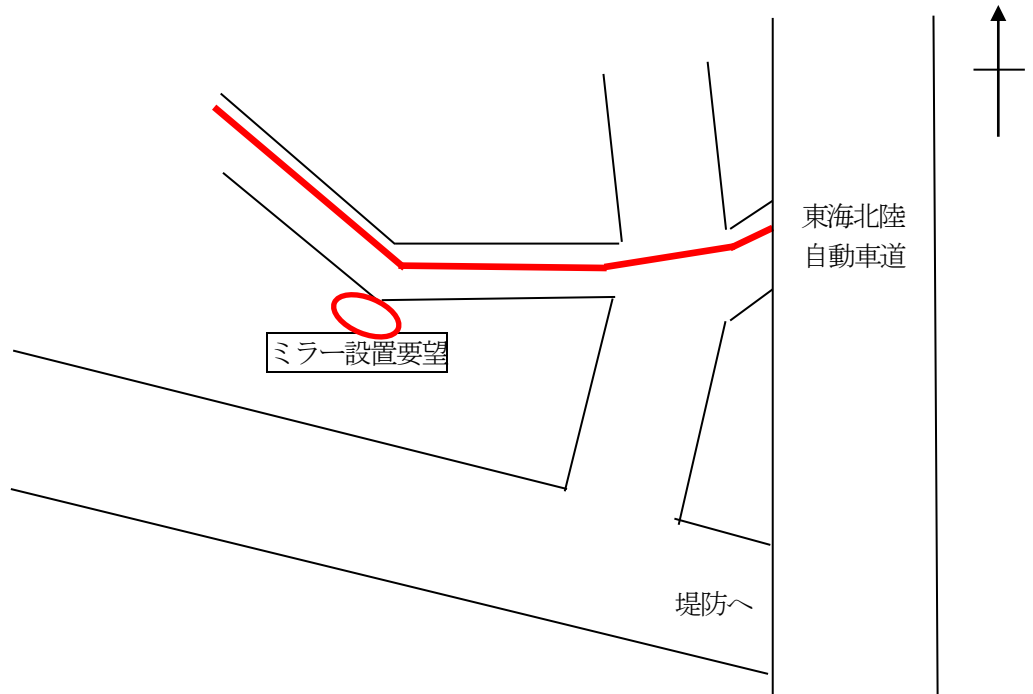


通学路点検 箇所別資料

笠松町立 下羽栗小学校

番号(対策一覧表 左の番号)	4	路線名	
住所	米野551番地付近横 通学路		
通学路の状況 危険の内容	通学路で緩やかなカーブあり。道幅が狭く登校する児童の姿が分かりにくい。		
対策内容	町		
事業主体			
対策年度			
通学児童数(人)	約15名		
改善の要望者	学校、PTA		
児童の登校下校時 にボランティアは 配置されている か。	なし		
・現場の写真	<p>東から</p> 		

・現場の拡大図  
(どの位置にどの  
ような横断歩道や  
標識等を設置する  
か。





通学路点検 箇所別資料

笠松町立 下羽栗小学校



番号 (対策一覧表 左の番号)	5	路線名	
住所	江川118番地 南 (スポーツ交流館 南)		
通学路の状況 危険の内容	気が生い茂っていることと、空き家があることで不気味。		
対策内容	木を切るなどして、景観を明るくする。		
事業主体	町		
対策年度			
通学児童数 (人)	約110名		
改善の要望者	学校、PTA		
児童の登校下校時 にボランティアは 配置されている か。	無し		
・現場の写真	<p>東から</p> 		

・現場の拡大図  
(どの位置にどのような横断歩道や標識等を設置するか。)

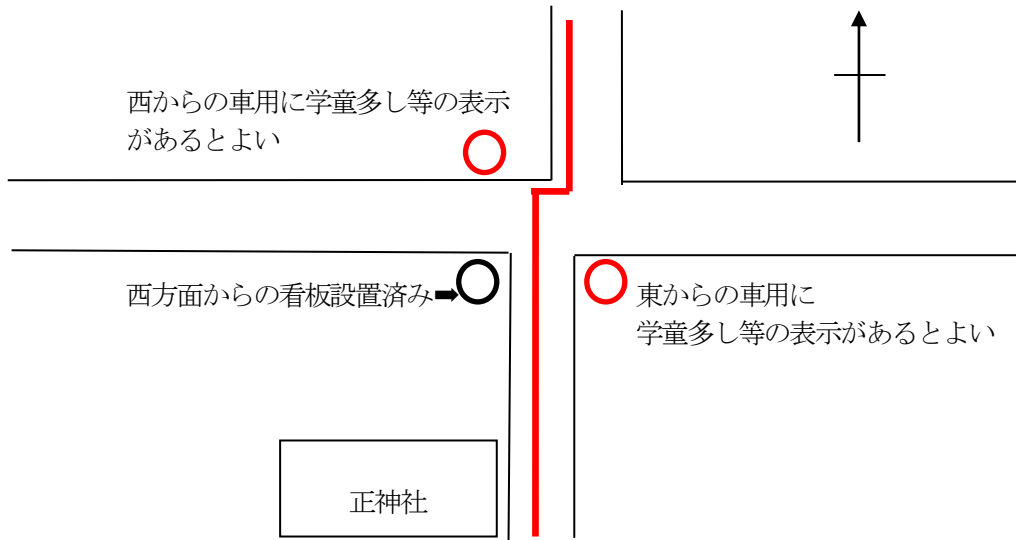
立木の事案のため図は省略します。

通学路点検 箇所別資料

笠松町立 下羽栗小学校

番号 (対策一覧表左の番号)	6	路線名	
住所	無動寺156から116		
通学路の状況 危険の内容	県道に抜ける車が多く、道幅のわりにスピードが速い。		
対策内容	通学児童がこの道を横断するため、「学童多し」等の表示を設置		
事業主体	町		
対策年度			
通学児童数 (人)	約125名		
改善の要望者	学校、PTA		
児童の登校下校時にボランティアは配置されているか。	無し		
・現場の写真	<p>東から</p>  <p>北から</p> 		

・現場の拡大図  
(どの位置にどのような横断歩道や標識等を設置するか。)



通学路点検 箇所別資料

笠松町立 下羽栗小学校


番号(対策一覧表左の番号)	7	路線名	県道下中屋笠松線
住所	中野、ローソンを挟んで北側の歩道		
通学路の状況 危険の内容	雨天時、車道からの水はねが多い。		
対策内容	透水性のアスファルト舗装		
事業主体	県・町		
対策年度			
通学児童数(人)	約20名		
改善の要望者	学校、PTA		
児童の登校下校時にボランティアは配置されているか。	無し		
・現場の四方向の写真	<p>東から</p>  <p>西から</p> 		

・現場の拡大図  
(どの位置にどのような横断歩道や標識等を設置するか。)

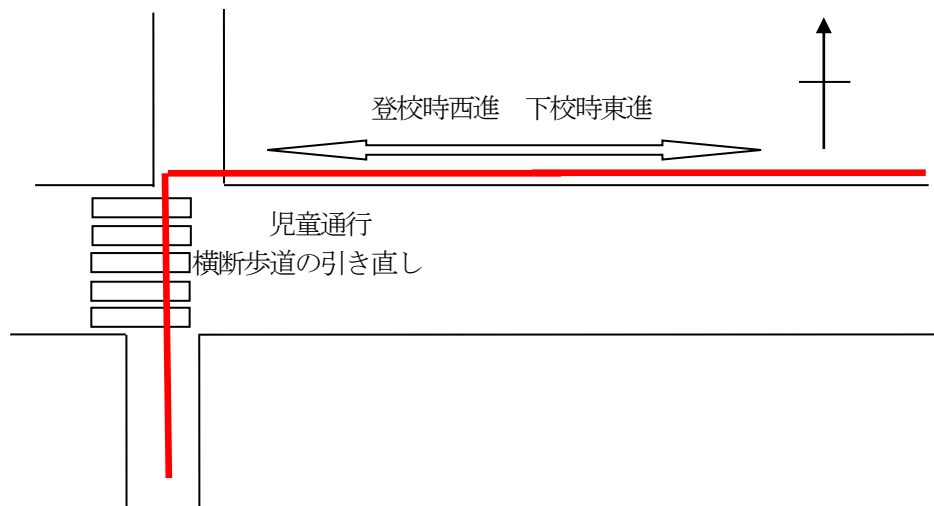
道路の舗装の仕方に関するこのため、図は省略します。

通学路点検 箇所別資料

笠松町立 下羽栗小学校

番号(対策一覧表左の番号)	8	路線名	県道下中屋笠松線
住所	円城寺741から775まで、北側歩道		
通学路の状況 危険の内容	歩道が狭い。登校時は、東から西向きに歩くため、東から来る自転車と接触しそうになる。		
対策内容	歩道が広くなればよいが、難しい。		
事業主体	県・町		
対策年度			
通学児童数(人)	約35名		
改善の要望者 (個人・学校・PTA・地元自治体等)	学校、PTA		
児童の登校下校時にボランティアは配置されているか。	任意の保護者		
・現場の四方向の写真	<p>東から</p> 		


・現場の拡大図  
(どの位置にどのような横断歩道や標識等を設置するか。)





通学路点検 箇所別資料

笠松町立 下羽栗小学校



番号（対策一覧表 左の番号）	9	路線名	
住所	円城寺914番地 西側		
通学路の状況 危険の内容	歩道にはみ出して車が止まっている。歩道をふさいでいる。		
対策内容	歩道にはみ出さないように、指導をしてもらう。		
事業主体	町・警察		
対策年度			
通学児童数（人）	約62名		
改善の要望者 （個人・学校・P TA・地元自治体 等	学校、PTA		
児童の登校下校時 にボランティアは 配置されている か。	なし		
・現場の四方向の 写真			

・現場の拡大図  
(どの位置にどのような横断歩道や標識等を設置するか。)

車の止め方案件のため、図は省略します。

通学路点検 箇所別資料

笠松町立 下羽栗小学校



番号(対策一覧表左の番号)	10	路線名	
住所	円城寺935から909の歩道		
通学路の状況 危険の内容	でこぼこして歩きづらい。雑草が伸びていることがあり歩くのにじゃま。冬場凍結すると溶けにくく危険。		
対策内容	でこぼこは、駐車場や家につながる車の動線になるため解決は難しい。		
事業主体	町		
対策年度			
通学児童数(人)	約75名		
改善の要望者 (個人・学校・PTA・地元自治体等)	PTA		
児童の登校下校時にボランティアは配置されているか。	なし		
・現場の四方向の写真	<p>東から</p>  <p>拡大</p> 		

・現場の拡大図  
(どの位置にどのような横断歩道や標識等を設置するか。)

民地への侵入口確保のため、対応不可。図は省略します。

通学路点検 箇所別資料

笠松町立 下羽栗小学校

番号 (対策一覧表 左の番号)	1 2 ・ 1 3 ・ 1 4	路線名	
住所	1 2 円城寺 8 3 8 国道 2 2 号線高架下 1 3 円城寺 3 7 3 JR 高架下 1 4 円城寺 1 4 8 7 国道 2 2 号線高架下		
通学路の状況 危険の内容	暗い。防犯上の懸念。路上駐車等。		
対策内容	防犯対策 (人感センサーライト・注意喚起の看板など)		
事業主体			
対策年度			
通学児童数 (人)			
改善の要望者 (個人・学校・P T A・地元自治体 等)	学校、PTA、自治会		
児童の登校下校時 にボランティアは 配置されている か。	無し		
・現場の四方向の 写真	1 2	1 3	
			
	1 4		
			

・現場の拡大図  
(どの位置にどのような横断歩道や標識等を設置するか。)

防犯案件のため、情報共有のみ。図は省略します。

通学路点検 箇所別資料

笠松町立 下羽栗小学校

番号 (対策一覧表左の番号)	15	路線名	県道下中屋笠松線
住所	米野417スリーウッズY&F(アパート)前交差点		
通学路の状況危険の内容	県道下中屋笠松線と県道松原芋島線が交わる信号のない5差路交差点。交通量が多く車同士の事故が多発している。通学中に歩道を歩く児童が事故に巻き込まれる危険がある。		
対策内容	歩道を歩く歩行者を事故車両から守るためのガードパイプを設置する。		
事業主体	県、町、警察		
対策年度			
通学児童数 (人)	約50名		
改善の要望者 (個人・学校・PTA・地元自治体等)	自治会、学校、PTA		
児童の登校下校時にボランティアは配置されているか。	なし		
・現場の四方向の写真	北から 	南から 	東から 

・現場の拡大図  
(どの位置にどのような横断歩道や標識等を設置するか。)

